軽微な変更説明書

年 月 日

株式会社 確認サービス 代表取締役 畑中 重人 様

確認以降に施行規則第3条の2に該当する軽微な変更がありましたので、当該変更内容を説明します。 また、この説明書及び添付図書に記載の事項は、事実に相違ありません。

(1) 建築主、設置者、築造主 氏名	
(2) 設計者 氏名	
(3) 確認済証番号	確認サービス第KS 号
(4) 省エネに係る変更の内容	
□ A 省エネ性能が向上する変更	
□ B 一定範囲内の省エネ性能が洞	対少する変更
□ C 再計算によって基準適合が明	らかな変更(建築物の用途や計算方法の変更を除く)
□□■再適判	
(5) 変更の内容	

- 1.建築主は、建築基準法第6条若しくは第6条の2の規定による確認以降に軽微な変更があった場合、軽微な変更説明書を2部提出して下さい。 本説明書は、検査申請書の添付図書として取り扱います。
- 2.軽微な変更の範囲については、建築基準法施行規則第3条の2を参照してください。また、審査の結果軽微な変更に該当しない場合は、計画 変更確認が必要となります。
- る。 3.配置計画等その変更内容によって、申請書等記載事項変更届・報告事項変更届・建築計画概要書が必要となる場合があります。 4.本説明書の内容を建築主等に対して十分にご説明ください。 本説明書の提出があったことにより、建築主等への説明済みであるものとして取り扱います。

- 5.※印欄には、記入しないで下さい。
- 6.この説明書は、完了検査申請の際に、申請に係る建築物の建築物エネルギー消費性能確保計画(設計住宅性能評価・長期優良含む)に省エ ネ基準の軽微な変更があった場合を含むものとします。
- 7. (4)は省エネに係る図書の添付がない場合は記載不要です。
- 8. (4)変更の内容において、Aにチェックした場合には第二面に、Bにチェックした場合は第三面に必要事項を記入した上で、変更内容を説明するための図書を添付してください。Cにチェックした場合には軽微変更該当証明書等、及びその申請に要した図書を添付して下さい。
- 9.この軽微な変更説明書は、法改正によって図書の追加提出をする場合にも活用できます。

※ 受付欄	※ 決裁欄
	年 月 日
※ 計画変更確認申請	要 • 否
※ 省エネ適判変更ルート	A・B・C・再適
※ 有一个週刊変史ルート	提出済•提出要

※ 意匠	※ 設備	※ 構造
※ 二次審査者	※ 省エネ	※備考
受領日		受取者氏名

別紙:軽微な変更説明書

(6) 変更の内容	

【A 省エネ性能等を向上させるまたは当該性能に影響を及ぼさない変更】

【A. 有二个性能等を向上させるまたは当該性能に影響を及ばさない後史】
・変更内容は、□チェックに該当する事項となる
□ ① 建築物の高さ又は外周長の減少
□ ② 外壁、屋根又は外気に接する床の面積の減少
□ ③ 空気調和設備等の効率の向上又は損失の低下となる変更(制御方法等の変更を含む)
□ ④ エネルギーの効率的利用を図ることのできる設備の新設又は増設
□ その他 (
・上記□チェックについて具体的な変更の記載欄
・添付図書等
(注意)変更内容は、該当するものすべてにチェックをすることとし、チェックをした事項につレ
(任息) 変更的なは、該当りるものりゃくにアエックをりることとし、アエックをした事項につい 具体的な変更内容を記載した上で、変更内容を示す図書を添付してください。

【B. 一定範囲内のエネルギー消費性能を低下させる変更】

本面台のDPI (\/ O O
・変更前のBEI= () \(\left(\)	×0.9
・変更となる設備の概要		
口		
□ 空気調和設備		
 変更内容記入欄		
发史的台記八懶 		
□機械換気設備		
DA DADA MBA MI		
変更内容記入欄		
□ 照明設備		
変更内容記入欄		
□ 給湯設備		
変更内容記入欄		
3434.12.11.		
□太陽光発電		
変更内容記入欄		
 ・添付図書等		
11.11.10目4		
		アをすることとし、チェックをした設備
		こ必要事項を記入した上で、変更内容を
示す図書を添付して	くにさい。	

【空気調和設備関係】

ひに拘ける()	ハ)、(ろ)のいずれか	に該当し、これ	以外については	「変更なし」か
「性能が向上す	る変更」である変更	•		
(い) 外壁、屋根	:、外気に接する床若	しくは窓の平均	対熱貫流率若しく	は窓の平均日射熱取得
増加(5%を超え	えない場合に限る)	又は減少		
	流率について5%を超			
	□ 断熱材種類		享み	
	□ 全方位	□ 一部方位	位のみ(方位)
	後の平均熱貫流率			
変更前(増加率() %
	流率について5%を超			
変更内容	□ 断熱材種類			
	□ 全方位	□ 一部方位	位のみ(方位)
	後の平均熱貫流率			
) 変更後) %
	の平均熱貫流率につ			
	□断熱材種類	頁 □ 断熱材/	享み	
変更する方位		□一部方位	位のみ(方位)
	後の平均熱貫流率	,		> - 4
) 変更後) %
	率について5%を超			
			\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	
	□ガラス種類			
変更する方位	□ 全方位)
変更する方位 変更前・変更後	□ 全方位 後の平均熱貫流率	□□一部方位	位のみ(方位	,
変更する方位 変更前・変更後 変更前(□ 全方位 後の平均熱貫流率) 変更後	□ 一部方(位のみ(方位 増加率(,
変更する方位 変更前・変更後 変更前(窓の平均日射熱	□ 全方位 後の平均熱貫流率) 変更後 取得率について5%	□ 一部方(() を超えない増加	位のみ(方位	,
変更する方位 変更前・変更後 変更前 (窓の平均日射熱 変更内容	□ 全方位 後の平均熱貫流率) 変更後 取得率について5%。 □ ガラス種類	□ 一部方(() を超えない増加] 頁 □ ブライ:	位のみ(方位 増加率(又は減少 ンドの有無	,
変更する方位 変更前・変更後 変更前(窓の平均日射熱 変更内容 変更する方位	□ 全方位 後の平均熱貫流率) 変更後 取得率について5%を □ ガラス種数 □ 全方位	□ 一部方(() を超えない増加 頁 □ ブライ: □ 一部方(位のみ(方位 増加率(又は減少 ンドの有無	,
変更する方位 変更前・変更前(変更前(窓の平均日射熱 変更内容 変更する方位 変更前・変更後	□ 全方位 後の平均熱貫流率) 変更後 取得率について5%を □ ガラス種数 □ 全方位 後の平均日射熱取得	□ 一部方(() を超えない増加] 面 □ ブライ: □ 一部方(位のみ(方位 増加率(又は減少 ンドの有無 位のみ(方位) %
変更する方位 変更前の 変更前の 変更前の 変更での 変更ででで 変更ででででででででででででででででででででででででで	□ 全方位 後の平均熱貫流率) 変更後 取得率について5%を □ ガラス種業 □ 全方位 後の平均日射熱取得型) 変更後	□ 一部方(() を超えない増加] 頁 □ ブライ: □ 一部方(粒())	位のみ(方位 増加率(又は減少 ンドの有無 位のみ(方位 増加率(,
変更する方位 変更前・変更前(窓の平均日射熱 変更内容 変更する方位 変更前・変更前・変更前((ろ) 熱源機器の	□ 全方位 後の平均熱貫流率) 変更後 取得率について5%。 □ ガラス種業 □ 全方位 後の平均日射熱取得率) 変更後 平均効率について10	□ 一部方(() を超えない増加] 頁 □ ブライ: □ 一部方(粒())	位のみ(方位 増加率(又は減少 ンドの有無 位のみ(方位 増加率() %
変更する方位 変更前・変更前(窓の平均日射熱 変更内容 変更する方位 変更する方位 変更前・変更前((ろ)熱源機器の 平均熱源効率(□ 全方位 後の平均熱貫流率) 変更後 取得率について5%。 □ ガラス種類 □ 全方位 後の平均日射熱取得率) 変更後 平均効率について10 冷房平均COP)	□ 一部方(() を超えない増加 頁 □ ブライミ □ 一部方(を ())%を超えない低	位のみ(方位 増加率(又は減少 ンドの有無 位のみ(方位 増加率() %
変更する方位 変更前・変更前・変更前の平均日射熱 変更中内容 変更する方位 変更する方位 変更前・変更前・変更前((ろ)熱源機器の 平均熱源効率(変更内容	□ 全方位 後の平均熱貫流率) 変更後 取得率について5%を □ ガラス種類 □ 全方位 後の平均日射熱取得型) 変更後 平均効率について10 (冷房平均COP) □ 機器の仕様	□ 一部方(() を超えない増加 頁 □ ブライミ □ 一部方(を ())%を超えない低	位のみ(方位 増加率(又は減少 ンドの有無 位のみ(方位 増加率() %
変更する・変更する・変更前のでででででででででででででででででででででででででででででででででででで	□ 全方位 後の平均熱貫流率) 変更後 取得率について5%を □ ガラス種類 □ 全方位 後の平均日射熱取得型) 変更後 平均効率について10 (冷房平均COP) □ 機器の仕様 後の平均熱源効率	□ 一部方(() を超えない増加	位のみ(方位 増加率 (又は減少 ンドの有無 位のみ(方位 増加率 (下 会数の増減) %
変更する・変更する・変更更前の方変更がの日本を変更を変更を変更を変更を変更を変更が変更を変更が変更が変更が変更が変更が変更が変更が変更が変更が変更が変更が変更が変更が変	□ 全方位 後の平均熱貫流率) 変更後 取得率について5%を □ ガラス種類 □ 全方位 後の平均日射熱取得率) 変更後 ○ 平均効率について10 (冷房平均COP) □ 機器の仕様 後の平均熱源効率) 変更後	□ 一部方(() を超えない増加」 頁 □ ブライ: □ 一部方(を 図 ○ ブライ: □ 一部方(図 ○ で) の%を超えない低 ・ () ・ (位のみ(方位 増加率(又は減少 ンドの有無 位のみ(方位 増加率() %
変更する・変更する方変更前のでででででででででででででででででででででででででででででででででででで	□ 全方位 後の平均熱貫流率) 変更後 取得率について5%。 □ ガラス種業 □ 全方位 後の平均日射熱取得率) 変更後 平均効率について10 (冷房平均COP) □ 機器の仕様 後の平均熱源効率) 変更後 暖房平均COP)	□ 一部方(() を超えない増加 頁 □ ブライ・ □ 一部方(下で) () () () () () () () () ()	位のみ(方位 増加率(又は減少 ンドの有無 位のみ(方位 増加率(送下 台数の増減 減少率() %
変更する・変更する・変更前(変更前(窓の平内を 変更更がり日射熱 変更更がなって。 変更更が、 変更更前((ろ)対熱源なって。 変更更前(で変更更前(で変更更前(で変更更前(で変更更前(で変更更前(で変更が熱源なって。 変更が熱源なって。 変更が熱源なって。 変更が熱源なって。 変更が熱源なって。 変更が、 変更が、 のでで変更が、 のでで変更が、 のでで変更が、 のでで変更が、 のでで変更が、 のでで変更が、 のでで変更が、 のでで変更が、 のでで変更が、 のでで変更が、 のでで変更が、 のでで変更が、 のでで変更が、 のでで変更が、 のでで変更が、 のでで変更が、 のでで変更が、 ので変更が、 のでで変更が、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 ので	□ 全方位 後の平均熱貫流率) 変更後 取得率について5% □ ガラス種類 □ 全方位 後の平均日射熱取得率 ② 平均効率について10 (冷房平均COP) □ 機器の仕様 後の平均熱源効率) 変更後 「暖房平均COP) □ 機器の仕様	□ 一部方(() を超えない増加 頁 □ ブライ・ □ 一部方(下で) () () () () () () () () ()	位のみ(方位 増加率(又は減少 ンドの有無 位のみ(方位 増加率(送下 台数の増減 減少率() %
変更 で	□ 全方位 後の平均熱貫流率) 変更後 取得率について5%。 □ ガラス種業 □ 全方位 後の平均日射熱取得率) 変更後 平均効率について10 (冷房平均COP) □ 機器の仕様 後の平均熱源効率) 変更後 暖房平均COP)	□ 一部方(() を超えない増加] 面 □ ブライ: □ 一部方(□) 0%を超えない低	位のみ(方位 増加率(又は減少 ンドの有無 位のみ(方位 増加率(送下 台数の増減 減少率() %

【機械換気設備関係】

	室の用途毎につき、り	欠に掲げる(い)、(ろ)のいず;	れかに該当し、、	これ以外に
ついては「変更なし	/」か「性能が向上する	る変更」であ	っる変更。		
(い) 送風機の電動機	&出力について10%を超	習えない増力	П		
室用途()				
変更内容	□ 機器の仕様変更	□ 台刻	数の増減		
変更前・変更後の過	送風機の電動機出力				
変更前(変更後()	増加率() %	
室用途()				
変更内容	□ 機器の仕様変更	□ 台灣	数の増減		
変更前・変更後の過	送風機の電動機出力				
変更前(変更後()	増加率() %	
(ろ)計算対象床面積	ぼついて5%を超えな	い増加(室	用途が「駐車場」	「厨房」である	場合に限
室用途(駐車場	易)				
変更前・変更後の原	末面積				
変更前(変更後()	増加率() %	
室用途(厨房)				
変更前・変更後の原	末面積				
変更前(変更後()	増加率() %	

【照明設備関係】

	評価の対象に	なる室の)用途毎につき、次	に掲げる	(い)に該当し、	これ以外について	[は「変更
	なし」か「性能	が向上す	「る変更」である変	芝更 。			
I	(い) 単位床面積	あたりの)照明器具の消費電	直力について	こ10%を超えない	増加	
ſ	室用途()				
	変更内容] 機器の仕様変更	□台	数の増減		
	変更前・変更後	の単位に	末面積あたりの消	費電力			
	変更前()	変更後()	増加率() %	
	室用途(•)				·
	変更内容] 機器の仕様変更	□台	数の増減		
	変更前・変更後	の単位に	末面積あたりの消	費電力			
	変更前()	変更後()	増加率() %	
ſ	室用途()				
	変更内容] 機器の仕様変更	□台	数の増減		
	変更前・変更後	の単位に	末面積あたりの消	費電力			
	変更前()	変更後()	増加率() %	
	室用途()				
	変更内容] 機器の仕様変更	□台	数の増減		
	変更前・変更後	の単位に	末面積あたりの消	費電力			
l	変更前()	変更後()	増加率() %	

【給湯設備関係】

評価の対象にな	る湯の使用用	途毎につき	、次に掲げ	る (い)	に該当し、	これ以外に	ついては
「変更なし」か「	性能が向上す	る変更」で	ある変更。				
(い) 給湯機器の平	均効率につい	て10%を超	えない低下				
湯の使用用途)					
変更内容	□ 機器) 仕様変更	□ 台数	なの増減			
変更前・変更後の	平均効率						
変更前() 変]	更後()	減少率	. () %	
湯の使用用途)					
変更内容	□ 機器) 仕様変更	□ 台数	なの増減			
変更前・変更後の	平均効率						
変更前() 変]	更後()	減少率	. () %	
湯の使用用途)					
変更内容	□ 機器) 仕様変更	□ 台数	なの増減			
変更前・変更後の	平均効率						
変更前() 変]	更後()	減少率	. () %	

【太陽光発電関係】

(ろ)のいずれかに該当し	し、これ以外については	「変更なし」か「性能が向」
变更。		
イのシステム容量について	て2%を超えない減少	
太陽電池アレイのシステ	ム容量	
容量の合計値()	
容量の合計値()	
システム容量減少率) %	
こついて30度を超えない変	変更又は傾斜角について1	0度を超えない変更
)		
□ 30度を超えない変更)度変更	
□ 10度を超えない変更)度変更	
)		
□ 30度を超えない変更)度変更	
□ 10度を超えない変更)度変更	
	で更。 (のシステム容量について大陽電池アレイのシステな量の合計値 (容量の合計値 (システム容量減少率とついて30度を超えない変更 10度を超えない変更 10度を超えない変更 30度を超えない変更 30度を超えない変更 30度を超えない変更	イのシステム容量について2%を超えない減少 太陽電池アレイのシステム容量 容量の合計値 ()) () () () () () () () ()